

2025 年度学生による後期授業評価アンケートへの

教員からのコメント

■科目名/担当者 現代メディアと社会／オムニバス(代表者:侘美)

コメント

一部の先生の課題が多すぎる。課題量の調整を教員間で行ってほしかった。

→授業内容の調整は事前に教員間で実施しましたが、各課題の内容については、計画段階で十分見通せていませんでした。お気持ちは十分にわかるのですが、分野、専門が違うので「課題の多い・少ない」の判断は、各教員に委ねられます。例えば、侘美はメディア系の課題の多い、少ない、難しい、簡単な判断が出来ません。

斉藤先生がお亡くなりになられたのは10月中頃だったのだから、もう少し早めに授業を公開することはできなかったのか。他の授業の課題もある中で、突然10回分以上の課題を出され（一部の先生の課題は過剰だった）謎の期限を設けられ、締め切りが近づく中でも動画を公開しない先生もいて、本当に迷惑だった。今後もし同等の措置を行うのであれば、余裕を持った課題・期限設定をしてほしい。

→ お気持ちはわかりますが、結論としては無理です。大学には高校までのように教科書があるわけではないので、授業内容、教材研究に時間がかかります。例えば、別大学で類似の科目の非常勤講師をしていたのであれば、すぐに授業を実施できたかと思いますが、今回はスライドをゼロから作った教員も多いので、その点は難しかったと思います。また、侘美のように11、12月の週末ほとんどカーリングの大会等で不在だったり、別の先生は12月に出張が多かったりなども…あるので、あれより早い公開はできたとしても、せいぜい1週間程度かと思います。

「ほかの授業もある中で・・・」といったあたりからのご指摘は、ごもったもな部分も多いとは思いますが、1月1日に残り回数分のオンデマンド課

題がアップされる旨は、事前にアナウンスをしていました。ご指摘の「謎の期限」は、「中間の期限設定」のことかと思いますが、こちらは直前に課題を駆け込んで学習効果を下げることがを防ぐ目的、また科目の脱落者を減らす目的から設定しました。

色々あったので仕方ないが授業の内容が担当教員事で別れていてかなり大変だった。特にサイ②の授業はメディアの授業から関係ないとは言わないが離れている気がした。又難しかった。

→ お気持ちは十分にわかるのですが、分野、専門が違うので「課題の多い・少ない」、「授業と関係ない」の判断は、各教員に委ねられます。例えば、侘美はメディア系の課題の多い、少ない、難しい、簡単の判断が出来ません。サイ先生も「現代メディアと社会」の授業課題として、課題を提示されています。そのため、熟考すれば「現代メディア」と「財布のデザイン」の接点は、いかようにも見いだせたのではないのでしょうか。